



松南地区町会連合会設立60周年記念事業

松南地区が昭和36(1961)年に発足して62年、コロナ禍で見送ってきた記念事業が、次のように決まりました。

「前回の30周年事業は大規模に開催されましたが、周年事業が簡素化される昨今、実を取った事業としたい。」と中田景文町会連合会会長。また岡村正実行委員長も「60年といえば還暦。地区を見直し新たな飛躍の機会としたい。」とのこと。

「事業の内容」

1 記念式典

(1) 期日 令和6(2024)年

2月25日(日) 午後

(2) 会場 なんなんひろば大会

議室

(3) 式典 祝辞など

2 記念講演

(1) 古墳時代の松南地区(仮題)

直井雅尚氏(日本考古学協会員)

(2) 松南地区を皆で語ろう(仮題)

「何を指しているのか?」

尻無浜博幸氏(松本大学副学長)を中心に地区住民とのパネルディスカッション
3 その他
 (1) 記念バッジの作成
 平田里古墳出土の鳥形埴輪をデザイン。式典参加者に配布。
 (2) リーフレット

「知っておきたい松南地区の歴史」の作成。地区に全戸配布。

「何を指しているのか?」

コンパクトで祝宴もない記念事業です。でも底流には歴代町会長など地区役員の次の思いが流れています。「利便性を求め住んだ人がほとんどですが、この地区を知り、地縁を結び、笑顔を交わし、イベントなどで交流し、ケアを



30周年記念事業の光景(平成3年)



昭和30年代の松南地区

大栄産業(現在 芳野町市営住宅)

担い、災害時は助け合うそんな地区であってほしい。この町に生きてよかった。」まさに「地域包括ケア」を目指した60年だったので。 「立ち見席となっても、皆さんに参加してほしい。」と中田会長は言います。(白澤幸男)

松南地区のできごと



12/21

イルミネーション点灯式



素晴らしい演奏とイルミネーションのマッチングです



12/16

親子お楽しみ会

▶開明小学校プラスバンドの演奏です



12/20

南松本保育園クリスマス会

▶楽しいクリスマス会でした



去る11月19日(日)南部体育館において表記のミニ運動会が開催されました。

第11回を迎えた本年、ここ数年参加者が少なく主催者側が頭を痛めていましたが、今回は天気が良く暖かさも手伝って、多くの参加者、特に家族連れが目立ち、とても賑やかな会となりました。

各種景品もバラエティに富み、それぞれ沢山持ち帰る姿が見られました。

終了後は参加者全員に松南地区地域づくり推進協議会による子ども食堂として、豚汁が振る舞われ、さらに暖まって帰っていただけだと思います。

改めて地域行事のありがたさ、大切さを感じました。それというのも若い家族連れが多く、参加されていたのを目の当たりにしたからです。

関係各位の皆さん、お疲れ様でした。

参加人数はスタッフを含め150名となりました。

(百瀬 壽)



楽しかったパン食い競争



大勢が参加した綱引き

松南地区のできごと



12/4 開明小学校 チューリップ球根植え

▶春にはきれいなチューリップが咲くことでしょう



11/12 双葉南町会 焼きいも大会

▶美味しい焼きいもができました



▶大きなネギを美味しくいただきました



11/25 ねぎの収穫とねぎ料理教室

コラム松南

「地域猫」

今年も冬本番の季節になりました。この時期になると思う事があります。野良猫たちは、この寒さの中、何処で過ごしているのかと思えます。私は微力ではありますが、近所の猫好き仲間たちとお世話をしております。

TNRという取り組みをご存知でしょうか。T(トラップ捕獲)・N(ニューター不妊手術)・R(リターン元の場所に戻す)という事で、繁殖できないようになり猫の数の抑制につながります。

この事を知り、仲間と今年二匹の猫の手術をしました。地域には、猫が好きな人、嫌いな人、興味が無い人など、いろいろ価値観をもつ人たちが暮らしています。価値観が異なる事でトラブルになると聞いたこともあります。お陰様で私の町会は、理解してくださる人が多く、ありがたいです。

TNRの猫は片耳が桜の花びらのようにカットされています。(通称サクラ猫) もし、サクラ猫を見かけたら見守って下さいね。

(渡辺 洋子)